

第5学年国語科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日(〇)〇校時

学 級：第5学年〇組〇名

場 所：5年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇〇

1 単元名 「調べたことを正確に報告しよう」

(「みんなが過ごしやすい町へ」 光村図書5年)

2 単元の目標

○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 [知識及び技能] (1)カ

◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B「書くこと」(1)エ

○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、これまでに国語科「きいて、きいて、きいてみよう」の学習で、自分の考えを伝え合う話し合い活動を経験してきた。自分の考えをもち、伝えることはできたが、各々が友達の意見から自分の考えを広げるまでには至らなかった。また、自分の考えに自信がもてず、一部の児童の発言で授業が進んでいくことも多いのが現状である。説明的文章の学習では、「見立てる/言葉の意味がわかること」を通して、事例と理由や論の進め方に着目し、要旨を捉える学習をした。ワークシートを用いて文章の構成を確認し、そこから事実と筆者の主張を捉えて、要旨をまとめることができるようになってきている一方で、自分の力で最後まで書き上げることができない児童も見られた。

(2) 教材について

本単元では、目的や意図に応じて調べたことを報告する文章を書くことを通して、集めた情報を目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに関連付けたりしながら、資料の引用、図表やグラフを用いて、自分の伝えたいことを明確にし、相手に伝えることができるようにする。また、互いに読み合い、相手に伝わりやすい筋道の通った文章構成や展開になっているかを考え、報告する文章の特徴を理解することができるようにする。

(3) 指導について

報告する文章とは、調べた事実を相手に伝える文章を指す。そこには、テーマを選んだ書き手のどの情報をどのように伝えるかという力が必要である。そこで、書き手である児童が自分のこととして考えられる対象を見つけることを重視する。

文章を書く目的がわかりやすくなるように、身近な題材(地域や学校、「総合的な学習の時間」など他教科で扱っている内容など)を対象にすることで、目的意識が高まると同時に、単に報告する相手を設定するのではなく、真の意味での相手意識が生まれると考える。言い換えると「調べたことを報告するために、相手に、より正確にわかりやすく伝えたい」という思いにつながると考える。

書き終わった後には、読んだ人からの感想をもらうなどフィードバックの時間を設定する。それにより報告する文章の意義から充足感や児童の達成感を味わうことが期待できる。

正確な資料を集めるために、調べた内容を整理したり、吟味したりする必要があり、調べ方としては、インタビュー、アンケート調査、実際に見る・触れる、本、インターネットと複数の方法があることを理解し、目的や意図に応じて選択できるように資料を準備しておくこととする。その際、事前に、図書室にある関連本を用意したり、ウェブサイトを表示したりすることも視野に入れる。ウェブサイトを参照する時は、事前に検索方法や正しい情報が見極める指導も取り入れる。

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ 	既習事項を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、報告する文章を書こうとしている。

5 単元の展開(全11時間)

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
特別活動 「その情報、本当？」の学習を通して、インターネットの特性を学習する。誰もが自由に投稿できるが故に、正確ではない情報が流されている場合があり、その情報の真偽を確かめる手立てを身に付ける。				
一	①	<ul style="list-style-type: none"> ○単元のゴールや目的を理解し、学習の見通しをもつ。 ○引用する時に気を付けることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を書き留める目的がはっきりするように促す。 ・目的に合った部分を、正確に書き写せるようにする。 ・特別活動の学習を想起させ、出展となる本やウェブサイトの情報を記録するように促す。 	【知・技】(1)カ <u>発言、ノート</u> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。

②	○調べて、考えたこと(気付いたこと)を文章にまとめ、相手に報告するための学習計画を立てる。	・児童が、粘り強く学習に取り組めるように、大きなテーマの中から、自分が調べたいと思うことについて、選択できるようにする。	【態度】 発言、観察 ・既習事項を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもととしている。
③	○図表やグラフが含まれている文章と含まれていない文章を読み比べ、自分の考えが伝わるような書き表し方について考え、報告する文章を書くときに生かす。	・比較対象の報告文を用意し、違いを見つけられるようにする。 ・自分が書く際に生かしたい表現を見つけられるようにする。	【思・判・表】B(1)ア ノート、メモ ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にしている。

特別活動

「著作権は誰のもの？」の学習を通して、著作物は誰のものかを確認し、著作者の立場から自身の著作物の扱われ方を考える活動を行い、どのように著作物と関わっていくとよいか具体的な行動を考える。

二	④ ⑤	○著作権を尊重し、保護するためにも、文章を引用する場合はかぎ(「 」)でくくることが、図表を用いる場合、本文に「図1は～」「表1は～」といった表現を用いることを知る。	・他教科との関連を図り、調べたいことについての資料を集めておき、児童が必要な資料を選んで調べられるようにする。	【知・技】(1)カ ノート、メモ ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。
⑥	○調べて考えたことが、相手に伝わりやすいように、文章の組み立て(構成)を考える。	・調べて考えたことが、相手に伝わるか、何度も読み返すことで、推敲することを促す。	【思・判・表】B(1)エ ノート ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	
⑦	○「調べたことメモ」や「組み立てメモ」をもとに、友達と交流し、相手に伝わりやすい情報が集まっているか確認する。	・調べるときや、「組み立てメモ」を作るときには、児童が交流する時間を設け、調べ方やメモの作り方について、考えの交流ができるようにする。	【思・判・表】B(1)エ ノート、発言 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	

	⑧ ⑨	○報告する文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの既習事項を生かすことができるようにする。 	<p>【思・判・表】B(1)ア、エ <u>ノート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
三	⑩	○報告文を読み合ったり、発表し合ったりして、感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との交流を通して、自分の考えが相手に正しく伝わっているか確認できるようにする。 	
	⑪	○学習を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・報告文を書くきまりや、そのよさについて振り返ることができるようにする。 ・1人1台端末を用いて振り返ることができるようにする。 	<p>【態度】 <u>発言、ノート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、報告する文章を書こうとしている。